

市民意見(パブリックコメント)に対する対応について

No.	資料名	ページ	基本目標	該当項目		担当課	意見概要	意見に対する回答	対応区分
				施策	項目等				
1	第3期おやベルネサンス総合戦略	4	1			商工立地振興課	既存産業を活性化し競争力強化・発展を図るとともに、本市の特性である広域交通網の利便性を活かした新たな魅力ある産業・事業所の創出を図ると有りますが今までも取り組んでおられ、高速道路インターが複数あるが実現出来てないので、戦略として対応しにくいと思います。	既存産業の競争力強化・発展については、十分な成果を出すには至っていない状況ではありますが、広域交通網の利便性を活かした新たな産業・事業所の創出という点においては、アウトレットモール周辺に食品加工を含む物流拠点や運送会社の物流拠点等の企業立地があったところです。また、その際には企業立地助成金等の本市の支援制度も活用いただいているところです。 このことから、引き続き企業誘致や既存事業者の支援を戦略に盛り込み新たな産業や仕事づくりに努めてまいりたいと考えています。	参考意見
2	第3期おやベルネサンス総合戦略	4	1			商工立地振興課	女性や高齢者、外国人等、誰もが活躍できる多様な就労機会の拡大を図り、仕事を求めて市外へ転出する人を抑制するとともに、都会からの移住者がスキルを活かせる仕事づくり、子育て世帯が安心して働ける職場環境づくりに努める案は重要かと思えます。	時代や社会の変化に対応するため、女性や高齢者、外国人等、誰もが活躍できる多様な就労機会の拡大を図ることは重要であり、誰もが安心して働ける職場環境づくりに引き続き努めてまいります。	参考意見
3	第3期おやベルネサンス総合戦略	4	1			商工立地振興課	起業・新分野開拓等を支援しと言った方向性は難しいのでは。起業・新分野開拓は田舎では非常にハイリスク。では、どうするかですが、田舎でも通信環境は整っているため、ネットを使った就労。そういった業務を業としての企業の誘致を試みる。ハローワークの求人情報を最近見たが、30年前と、さほど求人職種が変わらない。悲しい現実がそこには有る。	人口が減少する中でデジタル技術を活用した働き方は非常に重要だと認識しており、戦略に盛り込んだサテライトオフィス整備等事業や企業立地助成事業により、情報通信業等の企業誘致に取り組んでまいりたいと考えています。	参考意見
4	第3期おやベルネサンス総合戦略	4	2			企画政策課	「金沢市や高岡市などへの通勤の利便性などの立地の優位性や広域交通網の利便性を活かし、人口流出を抑制するとともに、比較的安価な土地価格をPRする等により移住施策の促進を図ります」と有りますが比較的安価な土地であっても、勤め先に近い住宅、買い物等に便利な地域等・就業先が沢山ある地域を不動産購入者は選びます。小矢部市には比較的安価な土地価格といった利点しか見当たらないのではないかと。要は比較的安価な土地価格をPRする等は愚策かと思えます。では、どうするかですが、石動駅は金沢駅方面、かたや高岡駅・富山駅方面へは交通機関は繋がっています。鉄道を利用したい人(通勤者・通院患者)等の住まい等が駅周辺にあれば、不動産に関心が出るかもです。シニアレジデンス等を考えておられる方はなるべく、車は使いたくない。通勤者も除雪の心配や災害の心配が無い、人間関係の薄い・祭事や自治会行事が無い集合住宅(執事や管理者が常駐)等が好まれるケースも有ります。通院患者にすれば、石動駅から金沢駅方面、かたや高岡駅・富山駅方面の大きな病院に通院が楽だろう。なんせ、金沢と富山の真ん中の駅だから。	比較的安価な土地のPRについては、市民会議でのご意見として安価な土地を理由に移住をした事例があったことから一部計画に記載しているところでもあります。 また、ご意見のとおり石動駅については、近隣都市への通勤等において利便性が高いと認識しており、駅周辺の住宅等の立地が重要であることは認識しているところでもあります。 比較的安価な土地だけをPRするのではなく、駅周辺の立地の優位性等も考慮して移住施策の推進を図ってまいりたいと考えています。	参考意見
5	第3期おやベルネサンス総合戦略					商工立地振興課	24時間ジムを新市役所の1階、もしくは、市役所、駅北口、南口周辺に誘致してはいかがでしょうか。お隣の高岡市、砺波市、かほく市、金沢市には、エニタイムフィットネス、エプリー、フィットイージーなどの24時間ジムが進出してあります。商圏の問題等ありますが、24時間ジムはほぼ無人(監視と掃除に1名~2名)夜間は完全無人、人件費がかかりません。10代~50、60代までの幅広い世代が活用できると思います。ぜひ市としての誘致を希望します。	今回のご意見やご要望も考慮し、引き続き企業誘致に取り組んでまいります。	参考意見
6	第3期おやベルネサンス総合戦略	14	2	1) 移住・定住への支援 ② おやべ暮らしの魅力発信と情報提供	重要業績評価指標(KPI)	企画政策課	「住み続けたい」と考える人 R1 67.0% R5 61.1% ふるさと納税件数(個人分) R1 648件 R5 4,233件 確かに、「住み続けたい」と考える人の割合が減少していることは、ふるさと納税の件数が増加しているにもかかわらず、地域への住民の満足度や定着意識が低下していることを示唆しているため、非常に重要な課題です。 ふるさと納税の増加は、地域経済への貢献や認知度向上にはつながるものの、住民の満足度や地域への愛着を高めるための施策が不足している可能性が考えられます。 住み続けたいと思う人が減少している原因を掘り下げ、住民のニーズに応じた施策の強化が求められると感じます。例えば、市民のシビックプライドの醸成をはかること、地域の生活環境、教育・医療サービス、地域コミュニティの活性化など、住民が「住み続けたい」と感じる要素を再評価し、その改善を図ることが必要ではないでしょうか。	市民満足度調査における「住み続けたい」と考える人の割合が減少していることについては、ご指摘のとおり地域に対する住民の満足度、定着意識の低下が現れているものと考えており、その要因について引き続き調査・研究し、必要とされる施策を検討してまいります。 また、一例としてお示しいただきました「シビックプライド」の醸成については、計画の本文において「小矢部市への愛着や誇りを醸成し」と記述をしているところではありますが、今回のご意見を参考とし「シビックプライド」の文言を追加し、引き続き各種施策に取り組んでまいりたいと考えています。	修正